

諸外国の輸出入規制に関するデータベースの作成

報 告 書

2021年3月31日

一般社団法人 日本海事検定協会

(検査第一サービスセンター)

目次

1. はじめに	2
2. 調査の内容	2
3. 調査の対象	2
4. 調査の方法	2
5. 調査の結果	
【インドの輸出入規制に関するアップデート】	
5-1 中古機械・設備等の関税評価目的の船積前検査に関する適用規則の更新	3
【ミャンマーの輸出入規制に関するアップデート】	
5-2 中古機械・設備・製造ラインに関する輸入規制の更新	5
6. おわりに	6

添付資料

- 1: インド財務省中央物品関税局 2020年2月5日付け税関通達 Circular No.07/2020-Customs (原文)
- 2: ミャンマー連邦共和国商業省貿易局 2020年5月14日付け省令 No.36/2020 (原文)

1. はじめに

アジア諸外国へ現物投資及び物品を輸出する際の輸入規制に関し、投資企業、輸出企業等から当協会に問い合わせが多く寄せられており、これら情報を総合的に閲覧できるデータベースの整備が望まれているところである。

本事業は、当協会の有する情報及び知見に基づき、海外への現物投資及び輸出を行う企業に対し、アジア諸外国の輸出入規制及び制度に関する基礎データを利用しやすい形に編集し、提供することを目的とし、以って、投資企業及び輸出企業の円滑な活動の促進、国際貿易の促進に寄与することとする。

2. 調査の内容

諸外国(アジア)への現物投資、物品輸出入等の貿易業務に係る輸出入規制及び制度に関するデータを文献調査、現地調査等により収集・調査した結果を総合的に一覧できる形にデータベース化し、当協会のホームページ、ガイドブック等を通じて上記関係者の利用に供するものである。

3. 調査の対象

調査は以下のスケジュールにより実施している。

平成 23 年度 (2011 年度) : タイ

平成 24 年度 (2012 年度) : インドネシア

平成 25 年度 (2013 年度) : インド

平成 26 年度 (2014 年度) : ベトナム

平成 27 年度 (2015 年度) : タイ、インドの部分的アップデート(改定増補)

平成 28 年度 (2016 年度) : ベトナムの中古機械設備の輸入規制に関する部分的アップデート (改定増補)

平成 29 年度 (2017 年度) : ミャンマー

平成 30 年度 (2018 年度) : 中国

令和元年度 (2019 年度) : ベトナムの中古機械設備の輸入規制改正に伴う部分的アップデート(第2回改訂増補)

調査の対象は、国際的な投資環境及び輸出状況により決定する。また、各国規制の改変状況を踏まえて、データベースの見直しを適時行くとともに以降も調査を並行して継続していく。

本年度は、インド及びミャンマーの中古機械設備の輸入に絡む輸入規制の改訂更新が行われたことを受け、各々の改正規制に関する調査を実施し、判明した新規情報を基に、既出のデータベースのアップデート(改訂増補)を図る事とした。

尚、平成 27 年度 (2015 年度) の報告書と平成 29 年度 (2017 年度) の報告書の改訂箇所は、本報告書を以って部分的に差し替える。

4. 調査の方法

2020年のインド及びミャンマーの中古機械設備に関する改正輸入規制について、以下の方法で調査を実施した。

- ① 文献調査(インターネットを含む。)

5. 調査の結果

【インドの輸出入規制に関するアップデート】

5-1 中古機械・設備等の関税評価目的の船積前検査に関する適用規則の更新

(平成27年度 報告書項目 5-2-2 (2)頁 8 の第2回改訂増補)

中古投資財ならではの貿易上の関税問題として、同一法人格間での国際的な取引(設備移管)では、独立企業間の取引に対し、輸入通関時の関税価格の取扱いで問題となるケースが多い。

現状、WTOの関税評価協定(Customs Valuation)に基き、関税評価には“Transaction Value”(取引価格:貨物が輸入国への輸出のために販売された場合に現実に支払われた又は支払われるべき CIF ベースでの現実支払価格)が用いられなければならないと定められている。一方、同一法人格間の取引される中古財の CIF 設定価格がこの条件に合致しているかは容易に判断が付かない。その理由としては、売手と買手の双方で成り立つ需要と供給による市場性が成立し難い事や、グループ企業同士で設定価格を意図的に操作/決定できる事等が挙げられる。

こうした事から、インド税関は、WTO 関税評価協定に準拠した関税法 “Customs Valuation (Determination of Value of Imported Goods) Rules 2007” (CVR,2007) を制定。また、2008年2月12日には税関通達 Circular No.4/2008-Cus を公示し、輸入中古機械設備(Second Hand Machinery/Capital Goods)及び機械部品のインド輸入通関に於いて、Invoice 価格の妥当性に疑義が生じた場合や実勢価格が不明な場合等で、当該税関が関税(価格)評価を行う目的で、積地検査機関(Chartered Engineer)の『価格に関する証明書』を利用する事が可能(揚地検査も選択可能な事から積地での必須検査では無い)であると制定した。拠って、この Circular No.4/2008-Cus の規定に従って、積地検査機関は価格評価(Valuation)を目的とした船積前検査を実施してきたのだが、インド国内の各港では、そうした認識が統一出来ておらず、積地証明書を有効と認めず、揚港で再検査/再査定が実施されてきた(2015年10月中旬まで)。

しかしながら、インド国内でも Circular No.4/2008-Cus の制定事実と運用実態とに矛盾が生じている事が問題視され、その後、各省庁や業界団体等で協議されてきた結果、2015年10月15日付け税関通達 Circular No.25/2015-Cus “Valuation of second hand machinery -regarding” が公示され、改めて積地検査機関の価格評価(Valuation)を目的とした船積前検査の有効性と全インド国内の税関での正式採用が再決定された。更に、全世界から提供されるべき価格評価データの統一性が図られ、従来とは一新された証明書指定書式も公示された。

この税関通達 Circular No.25/2015-Cus では、輸入される中古機械や中古資本財に対し、積地の Chartered Engineer 若しくは相当する機関に拠る検査の受検とその証明書の添付を基本

としつつ、そうした積地での検査や証明書が調達できない場合の救済処置として、インド国内の輸入通関地に於いて、商工省商務局外国貿易部 Directorate General of Foreign Trade (DGFT) に公認されて『外国貿易政策 2015-2020 (Foreign Trade Policy 2015-2020)』の付属書(Appendix) 2G のリストに記載されている船積前検査機関(PSIA)か、輸入通関地の税関が選出した Chartered Engineer の検査の受検と証明書の取得が規定された。しかしながら、程無くして、付属書 2G リスト記載の船積前検査機関(PSIA)は、インドへ輸入される金属スクラップの船積前検査を専任する検査機関として再編され、付属書 2G リストの登録内容も一新された為、価格評価(Valuation)を目的とした検査/証明には適さなくなった。そこで、インド財務省中央物品関税局は、2020 年 2 月 5 日付けで新たな税関通達 Circular No.07/2020-Cus “Valuation of second hand machinery–regarding”を公示し、下記抜粋の通り、輸入される中古機械や中古資本財に対する揚地検査機関から、付属書 2G リスト記載の DGFT 公認の船積前検査機関(PSIA)を公式に除外した。

* Circular No.07/2020-Cus の第 6 条の抜粋と旧 Circular No.25/2015-Cus の該当文との比較

Circular No.07/2020-Cus の第 6 条の抜粋	旧 Circular No.25/2015-Cus の該当文
(a) All imports of second hand machinery/used capital goods shall be ordinarily accompanied by an inspection/appraisal report issued by an overseas Chartered Engineer or equivalent, prepared upon examination of the goods at the place of sale.	(a) All imports of second hand machinery/used capital goods shall be ordinarily accompanied by an inspection/appraisal report issued by an overseas chartered engineer or equivalent, prepared upon examination of the goods at the place of sale.
(b) The report of the overseas chartered engineer or equivalent should be as per the Form A annexed to this circular.	(b) The report of the chartered engineer or equivalent should be as per the Form A annexed to this circular.
(c) In the event of the importer failing to procure an overseas report of inspection/appraisal of the goods, he may have the goods inspected by any one of <u>the Chartered Engineers impaneled locally by the respective Custom Houses.</u>	(c) In the event of the importer failing to procure an overseas report of inspection/appraisal of the goods, he may have the goods inspected by any one of <u>the agencies in India, as are notified by the DGFT under Appendix 2G of the HBoP 2015-20 and Aayat Niryat Forms to FTP 2015-20, as amended from time to time (para 2.59 of Handbook of Procedures 2015-20 refers).</u> (d) <u>At customs stations where agencies notified by DGFT are not present, importers may continue to avail of the services of locally empaneled chartered engineers.</u>
(d) In cases where the report is to be prepared by the Chartered Engineers impaneled by Custom Houses, the same shall be in the Form B annexed to this circular.	(e) In cases where the report is to be prepared by <u>the agencies in India notified by DGFT or the chartered engineers empaneled by Custom Houses</u> , the same shall be in the Form B annexed to this circular.

以下、平成 27 年度 報告書項目 5-2-2 (2)頁 9 に続く。

【ミャンマーの輸出入規制に関するアップデート】

5-2 中古機械・設備・製造ラインに関する輸入規制の更新

(平成 29 年度 報告書項目 5-1-2 頁 4 の第 1 回改訂増補)

5-1-2 ティラワ経済特別区以外の中古機械設備の輸入

ミャンマー商業省貿易局は、輸出入法第 13 条 2 号に基き、2020 年 5 月 14 日付け省令 No.36/2020 を公布し、2015 年から毎年更新／継続されて来た試験的な中古機械設備の輸入を、2020 年も特例として認めた事を通知した。

本制度は、自国の中小事業者を含めた工業製造業の育成を助成する一環として、設備投資の負担軽減を目的として立ち上げられ、2015 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までを第 1 期試行期間としてスタートされた後、規則内容が小改正された第 2 期試行期間が 2016 年の 1 年間運用されて来た。そして大きな変更が無いまま 2017 年の第 3 期試行期間から 2019 年の第 5 期試行期間と 3 年間継続された後、2020 年の今期は、規則内容に小改正が加えられ、第 6 期試行期間として実施される事となった。

因みに、本制度の輸入承認原則及び手続は、毎年見直され改正省令が毎年 1 月～2 月初旬に公布されるのだが、2020 年は、新型コロナウイルスの影響だったのか、5 月中旬での公布となった。

2020 年の省令に基づく中古機械設備の輸入許可条件は下記の通りである。

- (1) 修理の必要が無く、直接使用可能な機械である事。
- (2) 国内での使用に適さずに環境破壊を招く機械でない事。
- (3) 事業主の製造能力が向上する機械である事。
- (4) 経年数 10 年未満の機械である事。但し、条件付きで経年数 10 年以上の機械の輸入が許可される場合もある^{*1)}。
- (5) インボイスや取引契約書に下記内容の機械の諸元が記載されている事。
 - a. ブランド名(Brand Name)
 - b. 性能(Capacity)
 - c. 製造年(Model Year)
 - d. 原産国(Country of Origin)
 - e. 原動力又は燃料(電気,蒸気,ガソリン,軽油,天然ガス等)
- (6) 機械の残存能力が 80%以上である事。
- (7) 工業先進国の最新の技術で製造された機械である事。
- (8) ミャンマー着港 6 ヶ月以内に機械の稼動状態(Running Condition)に関する船積前検査が実施され、その証明書(Pre-Shipment Inspection Certificate)が発給されている事。
- (9) オゾン層破壊物質に関するモントリオール議定書、ストックホルム条約及びバーゼル条約を満たす旨の環境保全部発行の推薦状が添付できる事。
- (10) 海上輸送されて輸入される機械である事。
- (11) 工業監督検査局の検査^{*2)}の受検。

★1) 経年数 10 年以上の機械が輸入許可される場合：

高品質、高性能で製造過程が先進的であり、工業監督検査局から許可を受けた中小零細企業(MSME)や個人事業所の各事業所に適合する場合で工業監督検査局の推薦状がある場合。

*2) 工業監督検査局の検査で規定に満たないと判断された場合、関連法規や細則、慣例に倣い、処罰が適用される。

尚、2020 年の小改正で変更/追加された内容は、以下の通り。

- ① 『修理履歴が無い機器』⇒『修理の必要の無い機器』と変更された。
- ② 2018 年までの省令では、輸入が認められる中古機械は、『使用年が 10 年以上でない機械』とされていた所、2019 年の省令で使用年数が 10 年を超える機械の輸入を認める特例処置も示され、2020 年の改正省令にて、10 年超過機械の輸入許可条件がより詳細に規定された。
- ③ 中古機械輸入に関する工業監督検査局の同意書の取付け条件が無くなった。
- ④ これまでの省令には示されていなかった輸入禁止品目が、2020 年の改正省令で以下の内容で明示された。
 - a) 製造業に直接関係の無いもの(冷蔵庫,エアコン,洗濯機,コピー機,テレビ等)、その他の家庭用電化製品。
 - b) 直接使用せず営利目的の転売で輸入する中古機械。

上記した 2020 年の改正省令は、規定されている中古機械の輸入許可に関し、国内の需要やマーケットの状況並びに経済情勢等に基づき変更され公表されると締め括られている為、常に最新情報の確認に努めて頂きたい。

以下、平成 29 年度 報告書項目 5-2 (頁 5) に続く。

上記の調査結果は、規制条文の抜粋及び解説であるが、正式には添付する規制原文にて確認を願う。

6. おわりに

本報告書記載の内容は、2021 年 3 月 31 日時点の規制及び制度の概要であり、今後、変更があった場合は適時改定するとともに、関係者の意見等を踏まえて内容の充実に努める所存である。また、本報告書記載の内容についての不明な点は、当協会に照会して頂きたい。

F. No. 467/34/2006-Cus.V
Government of India
Ministry of Finance
Department of Revenue
Central Board of Indirect Taxes & Customs

North Block, New Delhi
Dated the 05th February, 2020

To,

All Principal Chief Commissioners/Chief Commissioners of Customs,
Principal Directors General/Directors General of Customs,
Principal Commissioners/Commissioner of Customs.

Madam/Sir,

Subject: Valuation of second hand machinery -regarding

Representations have been received from the trade regarding Circular No. 25/2015 – Customs dated 15th October, 2015 on valuation of second hand machinery. For this purpose, the circular requires customs to rely upon inspection report either issued at the port of loading by overseas Chartered Engineer or issued upon import by a pre-shipment inspection agency (PSIA) notified by DGFT, or by a chartered engineer empanelled by the Custom House where the DGFT approved PSIA's are not available.

2. It has been represented that the PSIA's empanelled by DGFT are insufficient in number leading to delay in clearances. It has also been informed that PSIA's empanelled by DGFT are not qualified for appraising second hand machinery.

3. In this regard, DGFT vide O.M. No. 01/93/180/51/AM-16/PC II(B)/E-1500/176 dated 3rd September 2019, has clarified that PSIA's are meant only for certifying that consignments of metal scrap are free of radio-active agents and explosives. The PSIA's are not required to be qualified as engineers. Also, ascertaining the age of a second hand machine is an engineering exercise and can be performed only by a qualified engineer. Thus, certifying the age of machines is beyond the jurisdiction of PSIA's.

4. After due consideration of clarification from DGFT and representations made by trade, Board has decided that henceforth for inspection/appraisal of second hand machinery, the following procedure shall be followed:

4.1 Where used second hand machinery is sold for export to India and the sale meets all of the requirements set out in Customs Valuation (Determination of Value of Imported Goods) Rules 2007, the price paid or payable for the goods is to be used as the basis for determining the assessable value.

4.2 However, it is frequently the case that as part of an arrangement, separate from the contract of sale, the second hand machineries are reconditioned, refurbished, modernized, or otherwise improved prior to their importation into India. In such situations, there is a change in the condition of the goods brought about prior to their importation. Similarly, other costs such as pre-shipment inspection, dismantling and crating charges may be incurred by the buyer after the sale of the goods. Costs of all such elements need to be determined for the purpose of arriving at the value under section 14 of the Customs Act. Thus, there may be instances where the requirements of Rule 3 of the Valuation Rules are not met, in which case, the value for imposition of duty must be determined under one of the subsequent methods of valuation applied in sequential order.

4.3 In view of the nature of goods, there may be certain difficulties in applying Rule 4 or 5 of the CVR, 2007. These difficulties arise from the fact that the goods being valued are used second hand machinery, and it may be difficult to find data relating to sales of such goods to India, which could be considered identical or similar and meet all the requirements of Rule 4 and 5 of the CVR, 2007.

4.4 Similarly, application of Rule 7 of CVR, 2007 where under goods being appraised are valued on the basis of subsequent sales of identical or similar goods in India, may also not be possible because the goods being appraised are imported for use rather than for resale. The difficulty of finding such sales of goods which could be considered identical or similar to the goods being appraised, may preclude the application of this method.

4.5 Under Rule 8 of the CVR, 2007, goods are valued using the computed value method which is based, among other things on the cost of production of the goods being appraised plus an amount for profit and general expenses. However, since used capital goods are not manufactured as such, viz, as old and used machinery, it is not possible to calculate assessable value based upon the cost of production.

4.6 It follows that in cases where used capital goods cannot be appraised under Rule 3, and where there may be difficulty in applying Rules 4 to 8 of the CVR, 2007, the proper officer may be required to apply the residual method under Rule 9 so as to factor condition, depreciation, refurbishment, charges of disassembly & packing and any expenses incurred by way of pre-shipment inspection agency charges etc.

4.7 Given the nature of challenges in computing the value of second hand machinery under Rule 9, and the need to ensure that the approach applied reflects commercial reality and results in a value which is fair, and is arrived through uniform processes by all Custom Houses, it is felt that it is necessary to obtain inspection/appraisal reports from qualified neutral parties.

4.8 For this purpose, the Board has decided that Inspection/Appraisal Reports issued by Chartered Engineers, or their equivalent, based in the country of sale of the second hand machinery shall be accepted by all Custom Houses. For the purposes of uniformity, the format in which inspection/appraisal reports shall be prepared by the Chartered Engineer is

annexed to this circular. In the event that an importer does not produce an inspection/appraisal report in the prescribed format from the country of sale, he shall be free to engage the services of any Chartered Engineer from those empanelled by the Custom House of the port of import.

4.9 No Custom House shall require any importer to have an inspection/appraisal report of second hand machinery from a particular Chartered Engineer. The importer shall be free to select any chartered engineer, empanelled by the Custom House for the respective class of goods, if so required.

5. All the Custom Houses are also hereby advised to empanel Chartered Engineers as per the requirements provided in this Circular immediately for the purpose of valuation of second hand machinery. The applicants must possess qualification for appraisal/inspection of second hand machinery and certified as such by the Institute of Chartered Engineers.

5.1 It is also clarified that upon the empanelment of Chartered Engineers by the Custom Houses, the practice of accepting certification from PSIA's for valuation of second hand machinery shall be discontinued. Those Customs Houses who already have empanelled Chartered Engineers for the valuation of second hand machinery may continue with those empanelled engineers as per the terms of the empanelment unless requirements dictate otherwise.

5.2 It is also clarified that PSIA's who have the requisite qualifications for being empanelled as a Chartered Engineer for valuation of second hand machinery may make an application to the respective Customs House for consideration of empanelment.

6. To sum up, the following guidelines shall be followed:

- (a) All imports of second hand machinery/used capital goods shall be ordinarily accompanied by an inspection/appraisal report issued by an overseas Chartered Engineer or equivalent, prepared upon examination of the goods at the place of sale.
- (b) The report of the overseas chartered engineer or equivalent should be as per the Form A annexed to this circular.
- (c) In the event of the importer failing to procure an overseas report of inspection/appraisal of the goods, he may have the goods inspected by any one of the Chartered Engineers empanelled locally by the respective Custom Houses.
- (d) In cases where the report is to be prepared by the Chartered Engineers empanelled by Custom Houses, the same shall be in the Form B annexed to this circular.
- (e) The value declared by the importer shall be examined with respect to the report of the Chartered Engineer. Similarly, the declared value shall be examined with respect to the depreciated value of the goods determined in terms of the circular

No. 493/124/86-Cus VI dated 19/11/1987 and dated 4/1/1988. If such comparison does not create any doubt regarding the declared value of the goods, the same may be appraised under rule 3 of the CVR, 2007. If there are significant differences arising from such comparison, Rule 12 of the CVR, 2007 requires that the proper officer shall seek an explanation from the importer justifying the declared value. The proper officer may then evaluate the evidence put forth by the importer and after giving due consideration to factors such as depreciation, refurbishment or reconditioning (if any), and condition of the goods, determine whether the declared transaction value conforms to Rule 3 of CVR, 2007. Otherwise, the proper officer may proceed to determine the value of the goods, sequentially, in terms of rule 4 to 9.

7. Circular No. 25/2015 dated 15th October, 2015 stands superseded with the issue of this circular.
8. Clarification, if any, may be sought from the Board.
9. Hindi version follows.

Yours faithfully,


(Mandeep Singh)

Joint Commissioner (Customs)

Form A

(Refer Para 6 (b) of Circular No.07/2020-Customs dated 05th February 2020)

[On the letter head of the Chartered Engineer/Firm or an equivalent entity in the country of sale]

1. I, _____ (name of chartered engineer) hereby certify that I have carried out an inspection of the used machinery covered under invoice no _____ dated _____ issued by _____ (name of company/firm) as per the details given below.

2. I/We have visually inspected the second hand machinery/capital goods and certify the following:

a) Country of Inspection _____
Place of Inspection _____
Date of Inspection _____
Duration of inspection (in hours) _____

b) Details of seller:

(i) Name: _____
(ii) Address: _____
(iii) Telephone No. _____
(iv) E-mail _____
(v) Status: Actual user or dealer

c) Details of Importer:

(i) Name: _____
(ii) Address: _____
(iii) Importer Exporter Code No. _____

d) Details of the goods

(i) Name of Manufacturer of the machine _____ (with address/country/tel/website, if available; in case of multiple machines or a plant, details may be provided in a separate sheet)
(ii) Year of the manufacture of machinery:
(iii) Serial no. / ID No. or the manufacturer's plate affixed on the machine: _____ (please also enclose a photograph)
(iv) Description of Machine
(v) Whether original invoice of the machine is available?
(vi) If yes, value _____ currency _____ Date of Invoice _____ (please enclose copy)
(vii) If no, please estimate the original sale price of the machinery,
(viii) Present condition of machinery and expected lifespan:

(In case the goods being inspected are second hand spares of capital goods, it should be certified whether "such spares have at least 80% residual life of original spare") Refer: Para 2.31 of the Foreign Trade Policy 2015-20

(Please attach close up photographs of the machinery; multiple photographs may be taken, if necessary.)

(ix) Has any reconditioning or repairs been carried out immediately preceding this inspection:
YES/No

- (x) If yes, have these been carried out at the expense of the seller or by the purchaser or a third party?
- (xi) Are there invoices to indicate the cost thereof: **YES/NO** (please enclose relevant invoices)
- (xii) If No, then estimated cost thereof _____
- (xiii) Please briefly describe the nature of repairs and/or refurbishment:
- (xiv) Are there any charges incurred / to be incurred by the purchaser, for dismantling, packing and transporting the machinery to the port of export? If yes, pl indicate the charges _____
- (xv) Any catalogues / documentation of the machine are available? If yes, please provide the details and copies.

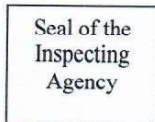
e) The following means/aids/technical references material have been used for inspecting the goods:

- (i) _____
- (ii) _____
- (iii) _____

3. I/We hereby declare that the particulars and statements made in this certificate are true and correct.

Date _____

Signature _____



Name of the Inspecting Person/Inspector _____

Designation _____

Address (Office) _____

E-mail Address _____

Phone Number _____

Instructions:

1. This certificate shall be presented before Indian Customs by the importer of the second hand machine (s) as a part of the import declaration under Customs Act, 1962, which is a legal declaration.
2. The Chartered Engineer/Chartered Valuer/ Qualified Expert must enclose a copy of the certificate issued by a national body which qualifies him to perform such appraisalment/inspection.
3. The photograph of the Chartered Engineer/ Chartered Valuer/ Qualified Expert shall be affixed to this report.

Form B

(Refer Para 6 (d) of Circular No.07/2020-Customs dated 05th February 2020)

[On the letter Head of the Chartered Engineer/firm if inspection report is issued in India]

1. I, _____ (name of chartered engineer) hereby certify that I have carried out an inspection of the used machinery covered under invoice no _____ dated _____ issued by _____ (name of co) as per the details given below.
2. I/We have visually inspected the second hand machinery/capital goods and certify the following:

a) Place of Inspection _____

Date of Inspection _____

Duration of inspection (in hours) _____

b) **Details of Importer:**

(i) Name: _____

(ii) Address: _____

(iii) Importer Exporter Code No. _____

c) **Details of the goods:**

(i) Name of Manufacturer of the machine _____ (with address/country/tel/website, if available; in case of multiple machines or a plant, details may be provided in a separate sheet)

(ii) Year of the manufacture of machinery:

(iii) Serial no./ ID No. or the manufacturer's plate affixed on the machine: _____
(please also enclose a photograph)

(iv) Description of Machine

(v) Whether original invoice relating to the machine is available?

(vi) If yes, value _____ currency _____ Date of Invoice _____ (please enclose copy)

(vii) If no, please estimate the original sale price of the machinery:

(viii) Present condition of machinery and expected lifespan:

(In case the goods being inspected are second hand spares of capital goods, it should be certified whether "such spares have at least 80% residual life of original spare") Refer: Para 2.31 of the Foreign Trade Policy 2015-20

(Please attach close up photographs of the machinery; multiple photographs may be taken, if necessary.)

(ix) Has any reconditioning or repairs been carried out immediately preceding this inspection: YES/No

(x) If yes, have these been carried out at the expense of the seller or by the purchaser or a third party?

(xi) Are there invoices to indicate the cost thereof: YES/NO (please enclose relevant invoices)

(xii) If No, then estimated cost thereof _____

(xiii) Please briefly describe the nature of repairs and/or refurbishment:

(xiv) Were any charges incurred by the purchaser, for dismantling, packing and transporting the machinery to the port of export? If yes, please indicate the charges _____

(xv) Is/are any catalogues/documentation of the machine available? If yes, please provide the details and copies.

d) **The following means/aids/technical reference material have been used for inspecting the goods:**

- i. _____
- ii. _____
- iii. _____

3. I/We hereby declare that the particulars and statements made in this certificate are true and correct.

Date _____

Signature _____

Seal of the
Inspecting
Agency

Name of the Inspecting Person/Inspector _____

Designation _____

Address (Office) _____

E-mail Address _____

Phone Number _____

Instructions:

1. This certificate shall be presented before Indian Customs by the importer of the second hand machine (s) as a part of the import declaration under Customs Act, 1962, which is a legal declaration.
2. The Chartered Engineer must enclose a copy of the certificate issued by the institute of Chartered Engineers, which qualifies him to perform such appraisalment/inspection.
3. Please attach copy of Customs House letter authorising you/your firm as an empanelled chartered engineer.



ပြည်ထောင်စုသမ္မတမြန်မာနိုင်ငံတော်အစိုးရ
စီးပွားရေးနှင့်ကူးသန်းရောင်းဝယ်ရေးဝန်ကြီးဌာန

အမိန့်ကြော်ငြာစာအမှတ်၊ ၃၆/၂၀၂၀
၁၃၈၂ ခုနှစ်၊ ကဆုန်လပြည့်ကျော် ၈ ရက်
(၂၀၂၀ ပြည့်နှစ်၊ မေလ ၁၄ ရက်)

စီးပွားရေးနှင့်ကူးသန်းရောင်းဝယ်ရေးဝန်ကြီးဌာနသည် ပို့ကုန်သွင်းကုန်ဥပဒေပုဒ်မ- ၁၃ ပုဒ်မခွဲ (ခ) အရ အပ်နှင်းထားသော လုပ်ပိုင်ခွင့်ကို ကျင့်သုံး၍ ဤအမိန့်ကြော်ငြာစာကို ထုတ်ပြန် လိုက်သည်။

အသုံးပြုပြီး စက်ပစ္စည်း (Used Machine) များ တင်သွင်းခွင့်ပြုခြင်း

၁။ စီးပွားရေးနှင့် ကူးသန်းရောင်းဝယ်ရေးဝန်ကြီးဌာနသည် အငယ်စား၊ အသေးစားနှင့် အလတ်စားစက်မှု လုပ်ငန်းများအပါအဝင် စက်မှုကုန်ထုတ်လုပ်ငန်းများ လုပ်ငန်းတည်ထောင် နှောင့်ရှောက်ရာ၌ အထောက်အကူဖြစ်စေရန်နှင့် ရင်းနှီးမြှုပ်နှံမှု ကုန်ကျစရိတ်သက်သာစေရန် ၂၀၁၅ ခုနှစ်မှစ၍ နှစ်အလိုက်တင်သွင်းခွင့်ပြုခဲ့သည့် ပြုပြင်ထားခြင်းမရှိသော တိုက်ရိုက်အသုံးပြုနိုင်သည့် အသုံးပြုပြီးစက်ပစ္စည်း (Used Machine) များကို အထူးကိစ္စရပ်အနေဖြင့် တင်သွင်းခွင့်ပြုလိုက် သည်။

၂။ ပြည်တွင်းတွင် အသုံးမတည့်သော စက်ပစ္စည်းများ စုပုံနေခြင်းကြောင့် သဘာဝပတ်ဝန်း ကျင်ထိခိုက်မှုမဖြစ်ပေါ်စေရန်နှင့် လုပ်ငန်းရှင်များ၏ ထုတ်လုပ်မှုစွမ်းရည် တိုးတက်စေရန် ရည်ရွယ်၍ အသုံးပြုပြီးသည့်နှစ် ၁၀ နှစ် ထက်မပိုသော အသုံးပြုပြီးစက်ပစ္စည်းများကို တင်သွင်းလိုသော လုပ်ငန်းရှင်များသည် အောက်ဖော်ပြပါ သတ်မှတ်ချက်များနှင့်အညီ တင်သွင်းရမည်-

- (က) တင်သွင်းမှုအထောက်အထားဖြစ်သော ကုန်အမှာလွှာ (Invoice) သို့မဟုတ် အရောင်းအဝယ်စာချုပ် (Sale Contract) တွင် စက်ပစ္စည်း၏ စံချိန်စံညွှန်း အပြည့်အစုံကို အောက်ပါအတိုင်း ဖော်ပြရမည်-
 - (၁) အမှတ်တံဆိပ် (Brand Name)
 - (၂) စက်စွမ်းရည် (Capacity)
 - (၃) ထုတ်လုပ်သည့်ခုနှစ် (Model Year)
 - (၄) ထုတ်လုပ်သည့်နိုင်ငံ (Country of Origin)
 - (၅) စက်၏ သုံးစွဲသည့် စွမ်းအင် သို့မဟုတ် လောင်စာ (လျှပ်စစ်၊ ရေနွေးငွေ့၊ ဓာတ်ဆီ၊ ဒီဇယ်၊ သဘာဝဓာတ်ငွေ့စသည်များ)
- (ခ) စက်ပစ္စည်း၏ အသုံးပြုနိုင်သည့် အရည်အသွေးသည် နည်းပညာ ၈၀% ထက် မနည်းသော အရည်အသွေးရှိရမည်။

- (ဂ) စက်မှုဖွံ့ဖြိုးပြီးသည့်နိုင်ငံမှ ခေတ်မီနည်းပညာဖြင့် ထုတ်လုပ်သောစက်ပစ္စည်း ဖြစ်ရမည်။
- (ဃ) စက်ပစ္စည်း၏ သုံးစွဲနိုင်သည့် ကြံ့ခိုင်မှု (Running Condition) နှင့်စပ်လျဉ်း၍ ဆိပ်ကမ်းဆိုင်ရာကော်သည့် ရက်မတိုင်မီ ခြောက်လအတွင်း စစ်ဆေးထားသော သင်္ဘောမတင်မီစစ်ဆေးခြင်းလက်မှတ် (Pre-shipment Inspection Certificate) ပါရှိရမည်။
- (င) အိုဇုန်းလွှာပျက်စီးစေသော ခြပ်ပစ္စည်းများနှင့်သက်ဆိုင်သည့် စက်ပစ္စည်း ဖြစ်ပါက မွန်ထရီယယ်နောက်ဆက်တွဲစာချုပ်၊ စတော့ဟုမ်းကွန်ဗင်းရှင်း၊ ဘာဆယ် ကွန်ဗင်းရှင်းများအရ သတ်မှတ်ချက်များနှင့် ကိုက်ညီစေရန် ပတ်ဝန်းကျင် ထိန်းသိမ်းရေးဦးစီးဌာန၏ ထောက်ခံချက်ပါရှိရမည်။

၃။ အသုံးပြုပြီးစက်ပစ္စည်း (Used Machine) သည် အသုံးပြုပြီးသည့်နှစ် ၁၀ နှစ်ထက် ကျော်လွန်နေသော်လည်း အရည်အသွေးမြင့်မားခြင်း၊ စက်စွမ်းရည် (Capacity) ကောင်းမွန်ခြင်း၊ ထုတ်လုပ်မှုနည်းစဉ် တိုးတက်ခြင်းတို့ကြောင့် စက်မှုကြီးကြပ်ရေးနှင့်စစ်ဆေးရေးဦးစီးဌာနမှ အသိ အမှတ်ပြုထားသော အငယ်စား၊ အသေးစားနှင့် အလတ်စားလုပ်ငန်းများ (Micro, Small and Medium Enterprises-MSME)နှင့် ပုဂ္ဂလိကစက်မှုလုပ်ငန်းများ၏ သက်ဆိုင်ရာလုပ်ငန်းခွင်များနှင့် သင့်လျော်ပါက စက်မှုကြီးကြပ်ရေးနှင့် စစ်ဆေးရေးဦးစီးဌာန၏ ထောက်ခံချက်ဖြင့် တင်သွင်း ရမည်။

၄။ အသုံးပြုပြီးစက်ပစ္စည်းများကို ပင်လယ်ရေကြောင်းမှ တင်သွင်းရမည်။

၅။ အောက်ပါ အသုံးပြုပြီးစက်ပစ္စည်းများကို တင်သွင်းခြင်းမပြုရ-

- (က) ကုန်ထုတ်လုပ်ငန်းများနှင့် တိုက်ရိုက်သက်ဆိုင်မှုမရှိသော (ရေခဲသေတ္တာ၊ လေအေးပေးစက်၊ အဝတ်လျှော်စက်၊ မိတ္တူကူးစက်၊ တီဗွီ အစရှိသည့်) အိမ်သုံးစက်ပစ္စည်းများ (Home appliances) ၊
- (ခ) မိမိ၏ကုန်ထုတ်လုပ်ငန်းတွင် အသုံးပြုရန်မဟုတ်ဘဲ စီးပွားဖြစ်ပြန်လည်ရောင်းချ ရန် ရည်ရွယ်ချက်ဖြင့် တင်သွင်းမည့် အသုံးပြုပြီးစက်ပစ္စည်းများ။

၆။ လျှောက်ထားသူသည် တင်သွင်းလာသော အသုံးပြုပြီးစက်ပစ္စည်းကို လျှောက်ထားချက်ပါအချက်များနှင့် ကိုက်ညီမှု ရှိ မရှိ စက်မှုကြီးကြပ်ရေးနှင့်စစ်ဆေးရေးဦးစီးဌာန၏ စစ်ဆေးမှုကို ခံယူရမည်။

၇။ အပိုဒ် ၆ ပါ စစ်ဆေးချက်အရ သတ်မှတ်ချက်များနှင့် ကိုက်ညီမှုမရှိကြောင်း စိစစ်တွေ့ရှိပါက သက်ဆိုင်ရာ ဥပဒေ၊ စည်းမျဉ်း၊ လုပ်ထုံးလုပ်နည်းများနှင့်အညီ အရေးယူခြင်းခံရမည်။

၈။ အသုံးပြုပြီးစက်ပစ္စည်း (Used Machine) များအား တင်သွင်းခွင့်ပြုခြင်းအား ပြည်တွင်း လိုအပ်ချက် ၊ ဈေးကွက်အနေအထား ၊ ပြည်တွင်းစီးပွားရေးလုပ်ငန်းများ၏ အခြေအနေ အစရှိသည် တို့အပေါ် မူတည်၍ လိုအပ်သလို ပြောင်းလဲပြင်ဆင်ထုတ်ပြန်သွားမည်ဖြစ်ပါသည်။

(ပုံ)

ဒေါက်တာသန်းမြင့်

ပြည်ထောင်စုဝန်ကြီး

စီးပွားရေးနှင့်ကူးသန်းရောင်းဝယ်ရေးဝန်ကြီးဌာန

စာအမှတ်၊ စက - ၁၄/၂ - ၃၇ / ၂၀၂၀ (၂)
ရက်စွဲ ၊ ၂၀၂၀ ပြည့်နှစ်၊ မေလ ၁၇ ရက်

ဖြန့်ဝေခြင်း

နိုင်ငံတော်သမ္မတရုံး

ပြည်ထောင်စုအစိုးရအဖွဲ့ရုံး

ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်ရုံး

ပြည်သူ့လွှတ်တော်ရုံး

အမျိုးသားလွှတ်တော်ရုံး

ပြည်ထောင်စုတရားလွှတ်တော်ချုပ်

နိုင်ငံတော်ဖွဲ့စည်းပုံအခြေခံဥပဒေဆိုင်ရာခုံရုံး

ပြည်ထောင်စုရွေးကောက်ပွဲကော်မရှင်ရုံး

ပြည်ထောင်စုဝန်ကြီးဌာနများအားလုံး

ပြည်ထောင်စုရှေ့နေချုပ်ရုံး

ပြည်ထောင်စုစာရင်းစစ်ချုပ်ရုံး

ပြည်ထောင်စုရာထူးဝန်အဖွဲ့ရုံး

နေပြည်တော်ကောင်စီရုံး

တိုင်းဒေသကြီး/ ပြည်နယ်အစိုးရအဖွဲ့များအားလုံး

မြန်မာနိုင်ငံတော်ဗဟိုဘဏ်

အတွင်းရေးမှူး၊ မြန်မာနိုင်ငံရင်းနှီးမြှုပ်နှံမှုကော်မရှင်

ညွှန်ကြားရေးမှူးချုပ်၊ ကုန်သွယ်ရေးဦးစီးဌာန

ညွှန်ကြားရေးမှူးချုပ်၊ စားသုံးသူရေးရာဦးစီးဌာန

ညွှန်ကြားရေးမှူးချုပ်၊ မြန်မာကုန်သွယ်မှုနှင့်တင်ပို့ရေးအဖွဲ့

ညွှန်ကြားရေးမှူးချုပ်

ပုံနှိပ်ရေးနှင့်ထုတ်ဝေရေးဦးစီးဌာန

}

မြန်မာနိုင်ငံပြန်တမ်းတွင်

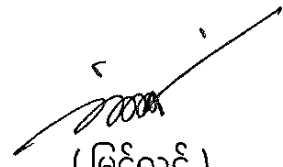
ထည့်သွင်းကြေညာပေးပါရန်

မြန်မာ့မော်တော်ယာဉ်ထုတ်လုပ်ရေးနှင့် ဖြန့်ဖြူးရောင်းချရေးလုပ်ငန်းရှင်များအသင်း
မော်တော်ယာဉ်ဖြန့်ဖြူးရောင်းချသူများအသင်း

ဥက္ကဋ္ဌ၊ ပြည်ထောင်စုသမ္မတမြန်မာနိုင်ငံကုန်သည်များနှင့် စက်မှုလက်မှုလုပ်ငန်းရှင်များ

အသင်းချုပ် (ညီနောင်အသင်းများထံ ထပ်မံဖြန့်ဝေပေးပါရန် မေတ္တာရပ်ခံချက်ဖြင့် ပေးပို့ပါသည်။)

အမိန့်အရ



(မြင့်လွင်)

ညွှန်ကြားရေးမှူးချုပ်

